

会議名称	第3回地域情報化推進委員会
日 時	平成20年2月27日（水） 19:00～21:10
場 所	議会第1委員会室
出席者	地域情報化推進委員会：荒木四郎、菅沼孝行、鈴木武史、橋山昌人、深田雄子、古山良太郎、山下真弘、坂尻規康 事務局：廣畑、早瀬、土屋、戸塚、山城

1 開会（事務局）

2 委員長挨拶

今回の委員会は地域情報化推進計画（案）をメインとし議論いただきたい。

3 協議報告事項

（1）掛川市情報化推進計画(案)について（事務局）

前回の推進委員会で報告した計画との変更点について

ア 前回からの変更点

- ・国の情報化戦略に総務省のユビキタス社会を目指す「u-Japan政策」を追加。
- ・電子政府・電子自治体の状況に「新電子自治体推進指針」を追加し、「2010年までにオンライン利用率を50%以上とする」ことを目標としていることを記載。
- ・掛川市の情報化動向「行政情報化の動向」「地域情報化の動向」を整理。
- ・ホームページに動画配信を追加。議会中継を公開することを目玉とし、講演など議会中継以外の用途でも活用することを記載。来年度導入予定。
- ・ブロードバンド環境改善のブロードバンド不通・不利世帯を改善するため、「FWAの可能性を検討する」部分を「通信事業者と調整を進めながらFWA方式の導入を進める」とした。
- ・校内LAN整備、適切な端末整備について来年度予算に合わせ修正。
- ・電子投票システムについて市長・市議選等で電子投票システムを導入・検討する自治体が出てきており、さらに、国政選挙でも電子投票ができるよう法整備が進められているため、「研究を進めていく」とした。
- ・マルチペイメントネットワークについてクレジットカードや電子マネーでの決済が日常化してきており、「研究していく」とした。

イ 意見公募した結果の変更点

11の意見が寄せられ3点が情報追加を必要とするもの、それ以外は文言修正のものであった。文言修正については対応し、詳細は省略する。

- ・「ITサポートコーナー」のスタート時期の記載を追加
- ・「Web2.0」という文言削除と用語解説への追加。
- ・公共施設予約の構築へ「東遠カルチャーパーク さんりーな」を追加。

（委員）市内の情報をワンストップで見られるポータルサイト構築について詳しく教えて下さい。

（事務局）市内には市役所のホームページの他に体育協会やさんりーな等団体のホームページが乱

立っていてそれぞれのホームページを開かないと情報を見ることができない。掛川市の新着情報として各団体等のホームページの新着情報を集めてくれる仕組みを作りたい。

(委員) WebGISについて詳しく教えて下さい。

(事務局) 市内の公共施設の位置図をみられたり用途地域などについても市に問い合わせをしなくてもホームページで閲覧できるようにしたい。

(委員長) 市役所を訪れた方にPRするにはITサポートコーナーの場所が分かり難いのでは？1階ロビーなど可能か？

(事務局) ITサポートセンターについては再開発ビル等いろいろな話があった。しかし実現せずお金をかけないでやれるところでやることをしようということで今の場所にサポートコーナーを設置。もっと分かり易い場所へという希望はある。

(事務局) 情報化推進業務は新しい業務。ここまでやれていない市町が多い。

(委員長) 理想は、1階に住基カード関係やインターネットの設備があり、アシスタントが近くにいてサポートしてくれたらと思う。

(事務局) 補足説明として市議会の中継システムは議員さんの方から情報公開のお話があり取り込むことになった。準備を進めているところで20年度中には開始したい。中央集会や講演会でも利用したい。20年度の目玉的な事業となる。

(事務局) 「e-じゃん掛川」の推進委員会コミュニティに投稿されていた質問の回答。

- ・地域の魅力発信にXOOPSサイトで地域情報を発信するという事だと思っておりますが、市のホームページはシステムを変更するという事ですか？

→市のホームページはRSSに対応したものに変更予定。

- ・バナー広告ですが、民間業者以外の第3セクターも料金徴収してもいいのでは？他の課の予算から広告費としてIT政策課に支払うようなシステムがあってもいいと思う。

→調べた段階では他市では見受けられなかった。検討したい。

- ・市のホームページのターゲット戦略ということになると思いますが、よく周りから「市のホームページはごちゃごちゃして見にくい」と聞く。「誰が、どんな情報を求めて、どういう経路から、市のホームページを見るのか」を気にしてレイアウトやカテゴリ分けをして頂けるとうれしい。

→ホームページのシステムが変更になるので改良されると思うが細かな点についてはこれから調整していきたいと思う。

- ・SNSについては、結果を急ぐのは良くないと思う。地道な活動を今後も頑張ってください。

→行政でも利用するよう各課にもアピールしていきたい。

- ・住基カードやe-じゃんの促進について。市の職員はもっと積極的に。

→e-じゃん、住基カード共にメールや名刺でもPRしていきたい。他の職員にもお願いしていきたい。

(委員長) 図書館のホームページ、貸出状況を確認する方法が分かり難いのでは？

(事務局) 図書館にホームページの指導する。

(2) 「掛川市の地域情報化への提言」に基づく具体的施策の進行状況 (事務局)

(委員) バナー広告の入れ替わり状況について期間等を教えて下さい。住基カードの推進と共にe-TAXの支援をしていただきたい。

(事務局) バナー広告は昨年の6月から開始。トップページのバナー広告については19年度は申込順で行った。20年度は掲載の位置を抽選にしようと考えている。お店紹介ページについては今年度同様に申込順を考えている。

(委員) 金額に関して意見等は？

(事務局) 特に聞いていない。

(委員) 住基カードは何枚まで無料？

(事務局) 新デザインの3,000枚の無料は決まっている。e-TAXについては税務課にも話をしておく。

(事務局) 3月1日受付分から新デザインの住基カードになる。

(委員) アドバイザー養成講座の内容を教えてください。地域のセンターの役員に変更があった時、説明会をお願いしたい。

(事務局) 新しくセンターの事務長になった方には個別で支援に伺っている。説明会は検討させていただきたい。

(事務局) アドバイザー養成講座の内容はシニア情報アドバイザー養成テキストを使用して、メールやインターネットの設定の仕方、画像処理、プレゼン発表や講師としての心得、後日IT基礎講習のサブ講師体験等を行っている。

(委員) 受講者の年代は？

(事務局) 40代から60代の方が殆ど。

(3) 平成20年度地域情報化関連予算案の概要 (事務局)

(委員) 情報格差是正事業のミニ講座でデジカメの講座を予定しているがメーカー、機種により取り扱い方が違うので難しいのではないかと？ハガキ作成にしてもソフトの種類が様々なので難しいものになってしまうのでは？困って参加される方は特に分からなくなってしまう傾向があるのでは。

(事務局) 案の状態なので内容を検討したいと思う。

(委員長) ITに興味のなかった人も議会中継のインターネット配信が始まれば興味を持つようになると思う。大いにPRしていただきたい。

(事務局) 情報を出してそれを見ることにより、自分の生活と結びつけ考え、市政にも興味を持ってもらえると思う。今回、議会からの提案でこのような話が出た。良いシステムを入れて有効に利用したい。

(委員) 地域防災の日に「e-じゃん」を利用した訓練を行っていた。自分もアクセスしようと思ったらページオーバーでアクセスできなかった。新しい機種でないと開かないならシステムなら問題があるのでは？技術的に難しいとは思いますがせっかく携帯電話からの手段があるのなら情報をうまく共有できるようにしていただきたい。

(事務局) 災害時に使えなければ意味がないことなので検討、開発元に相談したい。

(委員) 議会中継はとても良い。言葉だけでは伝わらないニュアンスが伝わってくる。

(委員) 本会議の中継を予定しているのですか？

(事務局) 今の状態では本会議のみ予定。

(事務局) 長時間ありがとうございました。今年度は今回の委員会で終了ですが来年度も引き続きよろしく申し上げます。

4 閉会(21:10)